

株式会社宮坂ダイカスト

Pick Up!

平成26年度

■事業計画名

新規製品鑄造後の加工プロセス革新による加工能力・競争力アップ

■概 要

最新鋭のCAD/CAM及び3D加工にも対応可能なマシニングセンタ導入により、新規製品の後加工のプロセスを革新し、新規製品サンプルの供給期間を短縮することで顧客満足に繋げ、加工スキルと競争力をアップする。

■分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術

＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成 果

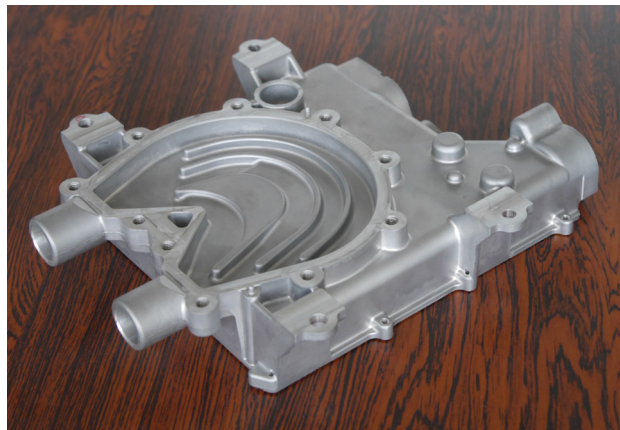
ダイカスト鑄造後の後加工のプロセスを革新し、新規製品サンプルの納期を短縮するため、最新鋭のCAD/CAM及び3D加工にも対応可能なマシニングセンタを導入した。

試作加工によるCAD/CAMとマシニングセンタについての検証の結果、CAD/CAMによる加工データの作成が短時間で可能となり、加工の精度も出せたことで、加工能力アップの新プロセスを確立できた。

今後は新規モノの加工に適用するとともに、検査治具製作やサンプル品削り出し等へ進展させたい。



加工工場内



自動車電装部品

平成24年度

□事業計画名

難易度の高い大型インサートダイカスト部品の鑄造体制の確立

□概 要

従来は鋼材の切削で製造していた、ロボット、自動車、工作機械等に組み込まれる、高精度・高品質な大型部品（ブレーキドラム、特殊ギヤ、光トルク減速機等）をアルミインサートダイカストで鑄造する体制を確立する。

平成29年度

□事業計画名

「鑄巣を極限まで減らす」ための新たなダイカスト鑄造システムの構築

□概 要

最新鋭ダイカストマシンとダイカスト用真空装置を同時に導入し、当社独自の最適なシステムを構築することにより、今まで達成困難であった「鑄巣を極限まで減らす」ことを実現し、今後のIoT関連部品取り込みを目指していく。

平成30年度

□事業計画名

短納期化と少量多品種生産に対応したダイカスト製品生産体制の再構築

□概 要

スマートガスメーターなど、新たなガスメーターの普及が本格化しており、新規のダイカスト部品の開発や試作依頼が増加している。この状況に対応すべく、従来のダイカスト製品の短納期化を図り新規部品の開発や試作を行い、新たな製品を製作できる体制を構築する。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社宮坂ダイカスト（岡谷市）

ダイカスト製品を金型設計から加工まで一貫生産。
後加工した完成部品づくりで高付加価値を生む。

ダイカスト部品を一貫生産

ダイカストとは、溶かしたアルミニウム合金などの金属を金型に圧入し、複雑な形状の製品を高い精度で大量に成形する鋳造方法。アルミニウムのほか、亜鉛、マグネシウムな



ガスメーター（ケース）

どの合金も使用し、自動車から産業機械、ハイテク製品まで幅広い分野に需要が広がっています。

宮坂ダイカストは1968（昭和43）年、ダイカストメーカーとして創業。ガスメーター部品、二輪車のブレーキ部品などの自動車部品を2本柱に、電装、船外機、医療部品などさまざまなダイカスト製品を手がけています。1996（平成8）年には第2工場を建設し、マシニングセンターによる機械加工を充実。ダイカスト部品を金型設計から仕上げ・加工まで一貫生産する体制を整え、後加工した完成部品での納品により付加価値を高めています。

金型の中に別の部品を入れて鋳造するインサートダイカスト、圧漏れや巣が出やすい部分に圧力を加えて鋳造する部分加圧ダイカストなど、製品ごとに最適な鋳造技術で対応。主力製品のひとつであるガスメーターでは、ガス漏れが発生しないよう、独自技術で金型内を真空状態にして鋳造する真空ダイカストを採用しています。

スマートメーターの試作に着手

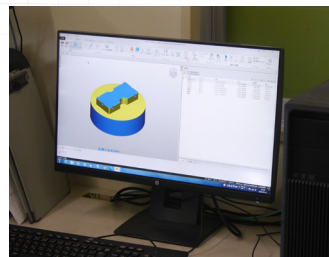
同社の出荷製品は月に約350種類あり、新規案件は顧客から3Dの製品データが送られてきます。しかし同社には3Dデータを処理するCAD/CAMがなく、2Dに変換した紙図面からプログラム数値を起こし、NC画面に手打ち入力で対応。納品までに多くの時間とコストがかかっていました。



数多くの加工治具が整然と並ぶ

そこで同社は平成26年度補正ものづ

くり補助金を活用し、CAD/CAMシステムと最新鋭マシニングセン



導入したCAD/CAMシステム

ターを導入。3Dデータによる加工に対応したことにより、新規製品サンプルの納期短縮と、加工精度の向上を実現しました。現在、多くの社員がCAD/CAMを使えるようになり、加工治具、検査治具の製造にも着手するなど、全社的なスキルアップにつながっています。

「自動車関係では月に何十万個も流れる部品はありますが、そういう仕事は基本的に断っている」という宮坂社長。「もし何かあって一気になくなってしまったら、怖い」。それはリーマンショック後、主力顧客の仕事が7分の1に減った苦い経験から得た教訓。「数量ではなく、できるだけ新しいもの、他がやっていないものをやるようにしています」。

今後、通信機能を備えたスマートメーターに変わり、まさに変革期にあるガスメーター。同社も新たなスマートメーターのケース試作に着手する



3Dデータに対応した最新鋭マシニングセンター

など、この動きを機敏にとらえた展開を始めています。「つねに新しいものにチャレンジしていきたい」。宮坂社長はそう力を込めます。



株式会社宮坂ダイカスト

代 表 宮坂 彰

設 立 1968（昭和43）年10月

資 本 金 4,100万円

従業員数 78名

本 社 岡谷市字西山1723-18

TEL.0266-23-2306 FAX.0266-23-1899

事業内容 ダイカスト製品鋳造加工、ダイカスト金型・プレス金型・加工用治具設計製作

<http://www.miyasaka-dc.co.jp>

